



第3条：生命に対する権利

「すべての人は、生命、自由及び身体の安全に対する権利を有する。」

- 2007年、アフガニスタンでは武力紛争によって約6500人が殺されました。その半数近くが、反政府ゲリラの手にかかって殺された民間人でした。また、武装集団の自爆テロにより、何百人もの市民が命を落としています。
- 公式な統計によると、ブラジルでは2007年に1260人が警察によって殺されました。これは過去最悪の数字です。そのすべてのケースが「正当防衛」として公式に記録され、ほとんど、あるいは全く調査されていません。
- ウガンダでは、国内の難民キャンプで毎週1500人が亡くなっています。世界保健機関（WHO）によると、こうした難民キャンプでこれまでに50万人が死亡しています。
- ベトナムの政府当局は、少なくとも7万5000人の薬物中毒者と売春婦に「エイズ感染の危険性が高い」とのレッテルを張り、71の「更生」収容所に入れていますが、何の治療も施していません。